

ぬまっこ 号外

ぼんじてってい ～凡事徹底～

令和6年3月18日

発行者

校長 三浦 了二

47名が 巣立ちました

(卒業式 校長式辞より)

47名の6年生の皆さん、ご卒業、本当におめでとうございます。卒業証書を手渡ししながら、この1年間の皆さんの頑張っている姿やたくさんの笑顔が思い出され、胸に熱いものがこみ上げてきました。

皆さんの小学校生活はその半分以上がコロナ禍で、様々な活動が制限されてきました。それでも、皆さんは明るく前向きに6年間の小学校生活を送ってきたと思います。そして、様々な制限が緩和されたこの1年間、学習や運動だけでなく、委員会活動やクラブ活動、縦割り活動で、それぞれ自分の持ち味を発揮し、学校のリーダーとして活躍しました。皆さんは様々な活動に真剣に、ひたむきに取り組みました。

皆さんは、下級生の良き手本として最上級生としての責任を立派に果たしました。加護坊山遠足では下の学年のリュックを持ってあげたり、励ましたりしながら登りました。73年続いている学校の伝統をしっかりと守り、学校の中心となり活動に取り組みました。皆さんは行事への取り組み方はもちろん、普段の生活でも在校生に目指す児童像「ぬまっこ」の姿をしっかりと見せてくれました。そして、「沼部小学校の伝統」の襷を渡してくれました。後輩たちはその襷をしっかりと受け取り、目に焼き付けた皆さんの姿を目標に、よりよい沼部小を築いていくことでしょう。

さて、卒業に当たって、一つお話しします。有名な物理学者のアインシュタインの言葉に「昨日から学び、今日を懸命に生き、明日への希望を持って」というものがあります。今日の頑張りが、明日の自分につながります。明日素晴らしい自分に出会えるよう、全力を尽くしましょう。後悔することがないように、いつでも最善を尽くしてください。一日ごとに皆さんは生まれ変わっています。皆さんは「今」、明日の自分を作っているのです。今日をそしてまさに今を懸命に過ごしましょう。

さあ、卒業生の皆さん。旅立ちの時です。沼部小学校で学んだことに自信をもち、前途洋々たる未来に自分らしい大きな花を咲かせてください。

